

表側の神鉄鶴越駅から 六甲全山縦走路をたどって菊水山に登る

私のミステリーWalk 鶴越-烏原-菊水山登り口-菊水山-鈴蘭台



2020.10.25. R0210kikusuiyama00.htm by Mutsu Nakanishi

この9月に神戸にも「六甲を登ってゆく登山電車がある」と鶴越・菊水山を越えて裏六甲に分け行く神戸電鉄とその表側登り口「秘境駅の雰囲気」がたどる『鶴越駅』を紹介しましたが、最近、地下鉄湊川公園駅から市バスに乗り継げば、山麓バイパスの鶴越バス停横で六甲全山縦走路・神鉄鶴越駅へ出られると知り、これはやってみたくて好奇心の虫。

菊水山を遠望しながら「随分長いこと表側から菊水山へ登っていないなあ」と。



菊水山山頂から眺める大阪湾の眺望 2020.10.13.



神鉄鶴越駅



山中の烏原に行く縦走路

神戸市の市街地中央の背後にそびえる大阪湾の大パノラマの展望台で毎日登山で多くの人が集う市民の山「菊水山」。裏の鈴蘭台からは何度も登るのですが、表側からはアクセスが悪く、半日散歩には不向きと敬遠。おまけに人っ子一人いない烏原を通過せねばならず、頂上への後半は急登の尾根道が続くとの記憶もあるのですが、山頂に立てば、大阪湾一望の大展望が楽しめる。

期待と好奇心一杯で、昼食を済ませた10月13日快晴の午後2時 山麓バイパス鶴越バス停をスタートに表側から鶴越から烏原を抜けて菊水山へ登りました。鶴越から烏原を通して菊水山へ登る縦走路は10数年ぶり。

山中の烏原の主要部分は大半 神戸の水簾 烏原貯水池とその諸施設で立ち入られず、通過してゆく神鉄の菊水山駅も廃止され、もう随分経過し、烏原貯水池以外ほとんど聞くこともなし。随分変わっているだろう。

菊水山ハイクの記録作りも兼ねたミステリーWalkの延長です。

烏原も菊水山の急登も記憶とは大違い、心地よいミステリーwalk。 スライド動画にまとめました。

コロナ禍での毎日 walk の一コマ。何かの参考になれば・・・



菊水山に登る

-



随分久しぶりの菊水山南麓の山中「烏原」の今に興味津々





菊水山への六甲全山縦走路 鳥原 神鉄菊水山駅跡下

前はもっと見通しの良い広場があったように思うのですが、整備された道のほかは雑草に埋もれていました。

諸施設が点在し、道も整備されているのに全く人家なく、車も人も通らず、静寂の中にある。

廃村でもないし、よく整備された野原ですが、全く視界が聞かずにちょっと不思議な感覚でした



■石井ダム下で石井川を渡ると菊水山直登尾根の登り口 階段状の急登が始まる



■菊水山山上からの大展望





南西側から北には明石海峡・播磨灘の光る海そして西神戸のニュータウン群



午後4時半ちかくなって日没が近い。そろそろ下山せねば……

でも山頂にはまだ10人近く残って景色を眺めたり、写真を撮ったりでくつろいでいる。鈴蘭台から私の後に登ってきた人たちもいる。夕暮れ時なのにと不思議……

そう思っはと気が付いた。この人たちはここで播磨灘に沈む夕日をながめるのだと。絶好のポジションで今日はチャンスだ。また、帰りの道も鈴蘭台へは、ほぼ登山道と並行して電波塔管理のNTTのドライブウェイがあり、暗くなっても大丈夫である。やっぱり大展望で人気の神戸市民の山の一つだ。次々とこの山に。日没を菊水山でながめると帰りが随分遅くなる。

今日の目的は達成できたので、日没を眺めず鈴蘭台に降りることにし、山を下る。山を下りて 神鉄鈴蘭台駅に着いた時にはすっかり薄暗くなっていましたが、満足感一杯のミステリーwak。もう記憶が薄れていましたが、表側からの道は頭にあるほどきつくなく、心地よい山歩き。烏原もあれていないことがわかり、表側からの菊水山 walk の記録も作れました。日没近し、ルンルンで電車で

2020.10.13.夕刻 鈴蘭台で



本項目のスライド動画は下記のホームページに掲載しています

風来坊・Country Walk2020「表側の神鉄鶴越駅から 六甲全山縦走路をたどって菊水山に登る」

◎ <https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/walk17/R0210kikusuiyama00.htm>

◎ <https://www.infokkna.com/ironroad/dock/walk/20walk06.mp4>

表側の神鉄鶴越駅から 六甲全山縦走路をたどって菊水山に登る

コロナ禍の秋 2020.10.13.



妙法寺横尾道から眺める菊水山

表側の神鉄鶴越駅から 六甲全山縦走路をたどって菊水山に登る

コロナ禍の秋 2020.10.13.

横尾道から眺める西六甲 菊水山

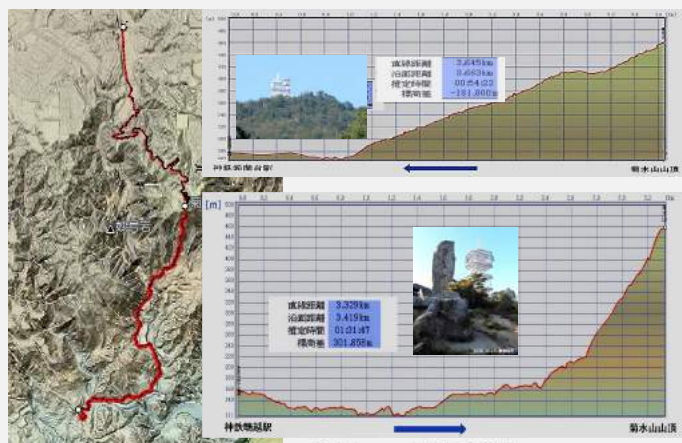
この9月久しぶりに神鉄鶴越駅へ行って、
「随分長いこと表側から菊水山へ登っていないなあ。」

神戸市の市街地中央の背後にそびえる大阪湾の大パノラマ展望台 菊水山
裏の鈴蘭台からは何度も登るのですが、表側からはアクセスが悪く、
また、鳥原から頂上への登山道の後半は急急の尾根道が続くので、半日散歩
には不向きと敬遠。
最近、地下鉄で通川公園駅で降りて、市バスで山麓バス停まで降り、
降りれば簡単に六甲全山縦走路神鉄鶴越駅へ出られる人を知った。
久しぶりに、表側からの菊水山ハイキングの記録を作ろうと。

表側神鉄鶴越駅から六甲全山縦走路を歩いて
鳥原を経て菊水山に登るスタートは
10月13日快晴の午後 山麓バイパス鶴越バス停から
2020.10.13. 14:00



山麓バイパス鶴越バス停より南西側を眺める秋の空 2020.10.13.
高取山と鶴越の尾根を背景に丸山の谷に広がる住宅地
この山麓バイパスのバス停の北側が神鉄鶴越駅
標高200m近く もう随分山の上であるバス停。



菊水山walk 行程標高差図

南の鶴越駅からの道は六甲全山縦走路ですが、帰路に使った鈴蘭台からの道に比べ、菊水山のきつい直登ルート。久しぶりでしたが、昔からの印象通りきつい道でした。でも2時間からめ山道 ゆっくり登ればOK。ひょっとして道が荒れているのではと思いましたが、よく整備されていました。



2020.10.13. 山麓バイパス鶴越バス停の北側の崖にある神鉄鶴越駅
六甲全山縦走路 菊水山への登山口です



2020.10.13. 山麓バイパス鶴越バス停の北側崖下にある神鉄鶴越駅。正面奥に菊水山が遠望される。六甲全山縦走路 菊水山への南西側からの登山口



2020.10.13. 山麓バイパス鶴越バス北側の崖にある神鉄鶴越駅



2020.10.13. 神鉄鶴越駅 六甲全山縦走路 菊水山への登山道が駅の東側線路に沿って続く。右の線路沿いの道が縦走路です



神鉄鶴越はまず北に抜けるが、縦走路は崖に沿って山を巻いて北の鳥原へ。今はもう集落もなく、鳥原貯水池と水道関係の諸施設があるのみ。かつては神鉄菊水山駅があり、登山口の乗降駅でしたが、今は廃止。何年か前にこの鳥原を貯水池から進んだり、菊水山の下山路に使いましたが、無人の野原で金網で囲まれた貯水池の諸施設があるのみ。荒れ野原。どうなっているだろうか・・・
2020.10.13. 山麓と崖に挟まれた小さな鶴市民公園前



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 林の中を鳥原へ



崖沿いのも林の中を抜けると鳥原内の広い道 鳥原と言っても人っ子一人いない静寂の鳥原入口 左へ菊水山の道をたどる
2020.10.13. 鳥原貯水池と石井ダムへの自動車道のT字路



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原 貯水池のタンクの横を抜ける



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原 また、車道に入る
崖下を北の石井ダムから鳥原貯水池に流れ込む鳥原川が水しぶきを上げて流れ下る



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原 鳥原川が水しぶきをあげて流れ下る



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原
鳥原川が水しぶきをあげて流れ下る



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原
鳥原川の流れて北へ 山麓バイパス三宮へ橋の下をくぐる



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原
鳥原川の流れて北へ 山麓バイパス三宮へ橋の下をくぐる



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走 鳥原
鳥原貯水池の一番大きな施設の前 沈殿設備ほかの設備が垣間見える
神戸市建設局中央水処理センター鈴蘭台処理場と言うそうだ



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 鳥原
神戸市建設局中央水処理センター処理場施設の金網に沿って
通り抜けてゆくが、奥に見慣れた菊水山の2基の電波塔が見える



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走 鳥原 神鉄菊水山駅跡の周辺
神戸市建設局中央水処理センター処理場施設の横を通り抜けると
トンネルを抜けてきた神戸電鉄の高架線路の横に出る。



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 烏原 神鉄菊水山駅跡の周辺
神戸市建設局中央水処理センター処理場施設の横を通り抜けると
トンネルを抜けてきた神戸電鉄の高架線路の横に出る。



2020.10.13. 烏原 神鉄菊水山駅跡の周辺から南側遠望
神戸電鉄の高架線路の横からは南側森の中に山麓バイパスの高架橋
手前の樹木の間に今歩いてきた水処理センターの建物が垣間見える



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 烏原 神鉄菊水山駅跡下
以前はもっと見通しの良い広場があったように思うのですが、整備された道の
ほかは雑草に埋もれていました。
諸施設が点在し、道も整備されているのに全く人家なく、車も人も通らず、
静寂の中にある。廃村でもないし、なにかちょっと不思議な感覚



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 烏原の北端 石井ダムの下
石井川を渡れば、いよいよ菊水山の山腹の登り口。
記憶では頂上まで急な登りが続く。



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 烏原の北端 石井ダムの下
石井川を渡れば、いよいよ菊水山の山腹の登り口。
記憶では頂上まで急な登りが続く。
人家のない烏原 ても縦走路は道もぎっちり整備され、
想像していたよりも明るい野原が維持されていました。



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 菊水山の山腹の登り口
石井川を東に渡り、菊水山の山腹を東へ登ると神鉄トンネルの上。



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 菊水山の山腹の登り口
神鉄トンネルの上からは一つ南のトンネルも見える。烏原は山深い山中。
神戸市の中心点は六甲の裏側 神戸の市街地のすぐ隣に山 そして海が
あるので散歩には事欠かない。



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 菊水山の山腹の登り口
さらに東へ回り込むと菊水山頂上への直登尾根の登り口
階段状の急な登山道が始まる



2020.10.13 菊水山への六甲全山縦走路 菊水山の山腹の登り口
登山道の近くで名前の知らぬきれいな野草が密集する泡立ち草の中で咲いていました。ついぞ見かけぬ野草です。



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 菊水山の山腹の登り口
六甲全山縦走路 菊水山の急な尾根筋のとっつき



2020.10.13 菊水山への六甲全山縦走路 菊水山の山腹の登り口
六甲全山縦走路 菊水山の急な尾根筋のとっつき
階段状の登山道が上へ上へと続く



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 急な尾根筋道が頂上まで続く
時折 尾根筋の東側下にある菊水山ゴルフ場が樹木の間から顔を出す
菊水山頂上眼下に広がる山中緑の中の美しいゴルフ場。本年閉鎖されたと聞き、また菊水山からの景色も変わってゆくかも...



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路
急な尾根筋道で こんな野草も見つけました



2020.10.13. 菊水山への六甲全山縦走路 急な尾根筋道が頂上まで続く
40分?程登ると急に視界が開け大阪湾の大展望 もう頂上直下だ。



2020.10.13. 菊水山への尾根筋道 頂上近くで開けた大阪湾の大展望
遠く霞む大阪湾対岸の前に神戸の中心市街地 そしてポートアイランドが眼前に



急に視界が開け大阪湾の大展望 2020.10.13.

神戸の中心市街地と港 ハーバーラン・ポートアイランド・神戸空港



眼下に見える菊水山ゴルフ場



南西側 西六甲の山並から淡路島

急に視界が開け大阪湾の大展望(1) 2020.10.13.



神戸の中心市街地と港 ハーバーラン・ボートアイランド・神戸空港



急に視界が開け大阪湾の大展望(2) 2020.10.13.

急に視界が開け大阪湾の大展望(3) 2020.10.13.



南西側 いつもこの菊水山を眺める山並みが明石海峡・淡路島へと続く
菊水山に続く西六甲の山並みが明石海峡へ続く山並みのシルエットが美しい
山麓バイパス・丸山の谷の向こう高取山・風早乗越・鶴越
高取山の後に横尾山、その間奥に、越伏・旗振山、さらに淡路島のシルエット



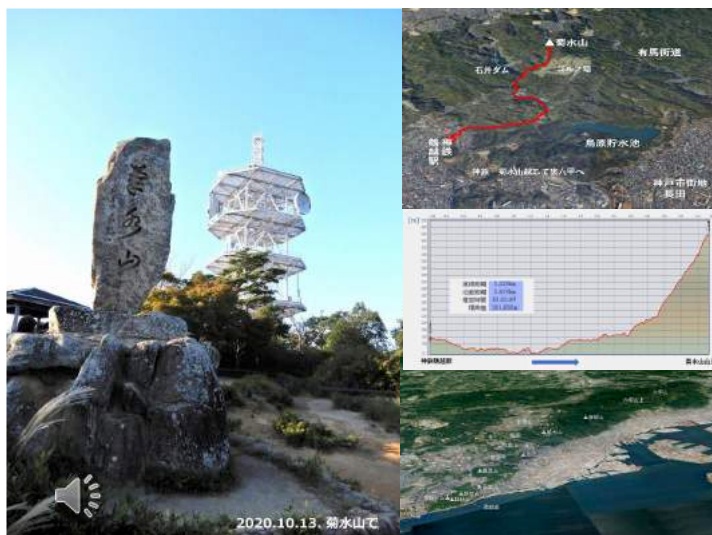
急に視界が開け 大阪湾の大展望 2020.10.13.



2020.10.13. 北にはもうすぐそこ
菊水山山頂の電波塔が見えている
やっぱり 菊水山は六甲の山並・大阪湾や神戸市街地展望の屈指の山です



2020.10.13. 北にはもうすぐそこ菊水山山頂の電波塔が見えている



2020.10.13. 菊水山で



2020.10.13. 夕暮れ近く午後4時前 菊水山山頂
神鉄鶴越駅から約2時間ほど 六甲全山縦走路を通っての菊水山山頂です



2020.10.13. 菊水山山頂からは南東側に広がる神戸市街地から大阪湾の大展望
何度来てもうれしい山頂です



菊水山山頂からは南東側に広がる神戸市街地から大阪湾の大展望 2020.10.13.



2020.10.13. 菊水山山頂から眺める南東側に広がる神戸市街地
神戸港ハーバーランド・ポートアイランドがくっきり見えている



2020.10.13. 菊水山山頂から眺める南東側に広がる神戸市街地
神戸港ハーバーランド・ポートアイランドがくっきり見えている



2020.10.13. 頂上西側の展望台からは 夕暮れに光り輝く明石海峡から播磨灘の大展望
海岸線から北へ広がる東播磨・西神戸の田園地帯・ニュータウン群が見渡せる



Video clip
西側には夕暮れに光り輝く西神戸・東播磨の大展望
明石海峡から播磨灘・西から北へ広がる東播磨・西神戸
明石海峡・淡路島から北の鈴蘭台まで 六甲山

西側には夕暮れに光り輝く西神戸・東播磨の大展望
明石海峡から播磨灘・西から北へ広がる東播磨・西神戸の
田園地帯・ニュータウン群が見渡せました



菊水山山頂より南西側から北への明石海峡・播磨灘から西神戸・東播磨の大展望
南西側 前方奥 淡路島・明石海峡へと続く西六甲の山々から西へ 夕日に輝く播磨灘
その手前には高取山から北へ鶴越の長い尾根 その後 西神戸のニュータウンが霞んでいる



菊水山山頂より南西側から北への明石海峡・播磨灘から西神戸・東播磨の大展望



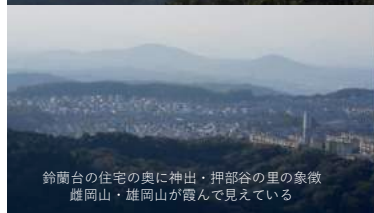
正面奥に夕日に輝く播磨灘 西明石の海岸線 その手前に学園都市の高塚山が東西に
その手前に 西神戸 名谷総合運動公園・学園都市などのニュータウンが広がっている



菊水山山頂からながめる南西側 明石海峡・淡路島の夕景 2020.10.13.夕



菊水山山頂より西北側から北へ西神戸から鈴蘭台の大展望
南西側 前方奥 淡路島・明石海峡へと続く西六甲の山々から西へ 夕日に輝く播磨灘
その手前には高取山から北へ駒越の長い尾根 その後 西神戸のニュータウンが霞んでいる



鈴蘭台の住宅の奥に神出・押部谷の里の象徴
雌岡山・雄岡山が霞んで見えている



丹生山の山並を背に広がる鈴蘭台の街並み



菊水山山頂からながめる播磨灘の夕景 2020.10.13.夕

正面奥に夕日に輝く播磨灘 西明石の海岸線 その手前に学園都市の高塚山が東西に
その手前に 西神戸 名谷総合運動公園・学園都市などのニュータウンが広がっている



午後4時半ちかくなって日没が近い。そろそろ下山せねば……
でも山頂にはまだ10人近く残って景色を眺めたり、写真を撮ったりでくつろいでいる。
鈴蘭台から私の後に登ってきた人たちもいる。
夕暮れ時なのに不思議……そう思っはって気が付いた。
この人たちはここで播磨灘に沈む夕日をながめるのだと。
絶好のポジションで今日はチャンスだ。
また、帰りの道も鈴蘭台へは、ほぼ登山道と並行して電波塔管理のNTTのドライブウェイ
があり、暗くなくても大丈夫である。 やっぱり大展望で人気の神戸市民の山の一つだ。
今日の目的は他姓で来たので、鈴蘭台に降りることに。

表側からの道はもう記憶が薄れていましたが、
頭にあるほどきつなく、心地よい山歩き。
鳥原もあれていないことがわかり
表側からの菊水山walkの記録も撮れた。
日没近し、ルンルンで鈴蘭台へ



■北へNTTの管理ドライブウェイを神鉄鈴蘭台駅へ降りる
夕間迫る中 色づき始めた林に陽が差し込んで心地よい下り



■北へNTTの管理ドライブウェイを神鉄鈴蘭台駅へ降りる
頂上のすぐ下で縦走路との分岐 左へ少し下るとNttの電波塔管理ドライブウェイ



北へNTTの管理ドライブウェイを神鉄鈴蘭台駅へ降りる
本当に今日も一日何回も見上げた菊水山電波塔 2020.10.13.



NTTの管理ドライブウェイを神鉄鈴蘭台駅へ降りる 2020.10.13.
夕日を浴びて紅葉し始めた樹木が輝いている。
このドライブウェイとはほぼ並行して谷筋を下る登山道があるのですが、
夕暮れ時 そのままこのドライブウェイを下る。



NTTの管理ドライブウェイを神鉄鈴蘭台駅へ降りる 2020.10.13
下に神戸電鉄の車庫が見えると鈴蘭台側の登り口、まもなく鈴蘭台の街に



ドライブウェイが谷筋の鈴蘭台側の登り口の横にでて、ここから鈴蘭台の街に



鈴蘭台駅がリニューアルされて 駅前が随分変わりました 2020.10.13.



神鉄鈴蘭台駅到着 すっかり暗くなっていました 2020.10.13 17:05
通常は原チャリですが、今日は電車、地下鉄で帰ります



表側神鉄鶴崎駅から菊水山に登り裏の鈴蘭台へ下るハイク
ずっと敬遠していたコースですが、秋晴れの午後のwalk
久しぶりの菊水山 新鮮で心地よい山歩き。
真っ暗になりましたが心地よし。

2020.10.13. 地下鉄で今日のwalkを振り返りつつ
Mutsu Nakanishi



表側の神鉄鶴崎駅から
六甲全山縦走路をたどって菊水山に登る
2020.10.13.



2020.10.13. 神戸の市街地からよく見える菊水山山頂の電波塔
やっぱり 菊水山は六甲の山並・大阪湾や神戸市街地展望の屈指の山です



2020.10.13. 菊水山山頂から眺める南東側に広がる神戸市街地
神戸港ハーバーランド・ポートアイランドがくっきり見えました



南西側 いつもこの菊水山を眺める山並みが明石海峡・淡路島へと続く
菊水山に続く西六甲の山並が明石海峡へ続く山並みのシルエットが美しい
山麓ハイパス・丸山の谷の向こう高取山・風早垂越・鶴越
高取山の後に横尾山、その間奥に、鉢伏・旗振山、さらに淡路島のシルエット



菊水山山頂からながめる播磨灘の夕景 2020.10.13.夕

正面奥に夕日に輝く播磨灘 西明石の海岸線 その手前に学園都市の高塚山が東西に
その手前に 西神戸 名谷総合運動公園・学園都市などのニュータウンが広がっている

